

岐 阜 県
ケアラーに関する
実 態 調 査

調査結果報告書

【 概 要 版 】

令和6年7月

I. 調査概要

1 調査の目的

このアンケート調査は、家族等の身近な人のケア※を行っているケアラー※の方々の現状や困っていることなどを把握し、今後の岐阜県のケアラー支援の取組に反映させることを目的として、実施しました。

※「岐阜県ケアラー支援条例」（令和6年3月制定）における定義

ケア：介護、看護、日常生活上の世話その他の援助

ケアラー：心身の機能の低下、負傷、疾病、障害その他の理由により援助を必要とする家族その他の身近な人に対し、無償でケアを行う者

2 調査対象及び調査方法

| 調査種別 | ケアラー本人調査 | | 関係機関調査 |
|-----------|---|---------------------------|--|
| | 高齢者等ケアラー調査 | 障がい者ケアラー調査 | |
| 調査対象 | 県内在住で主に高齢者のケアをしているケアラーの方 | 県内在住で障がい者のケアをしているケアラーの方 | 県内の地域包括支援センター（96か所）、居宅介護事業所（640か所）、障害者相談支援事業所（195か所）及び民生委員児童委員協議会（249か所） |
| 調査方法 | 地域包括支援センター・居宅介護支援事業所・民生委員児童委員協議会を通じて配布、郵送・Web回収 | 障害者相談支援事業所を通じて配布、郵送・Web回収 | 郵送配布、郵送・Web回収 |
| 調査票送付数 | 4,178通 | 975通 | 2,360通 |
| 調査票送付事業所数 | 985か所 | 195か所 | 1,180か所 |
| 調査期間 | 令和6年4月30日～令和6年5月31日 | | |

3 回収結果

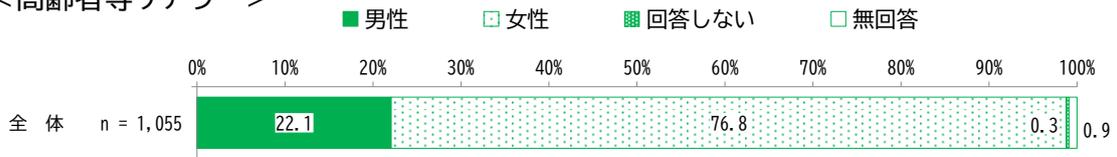
| 調査種別 | | 調査票送付数 | 調査票送付事業所数 | 有効回収数（うちWeb） |
|----------|------------|--------|-----------|--------------|
| ケアラー本人調査 | 高齢者等ケアラー調査 | 4,178 | 985 | 1,055(63) |
| | 障がい者ケアラー調査 | 975 | 195 | 147(22) |
| 関係機関調査 | | 2,360 | 1,180 | 762(159) |

II. 調査結果（ケアラー本人調査）

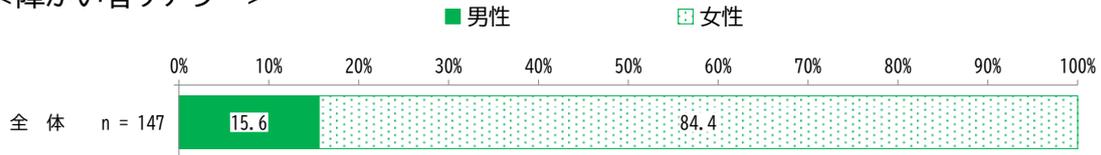
1 ケアラー本人の性別

- 高齢者等ケアラーの性別は、「女性」が76.8%、「男性」が22.1%となっています。
- 障がい者ケアラーの性別は、「女性」が84.4%、「男性」が15.6%となっています。

<高齢者等ケアラー>



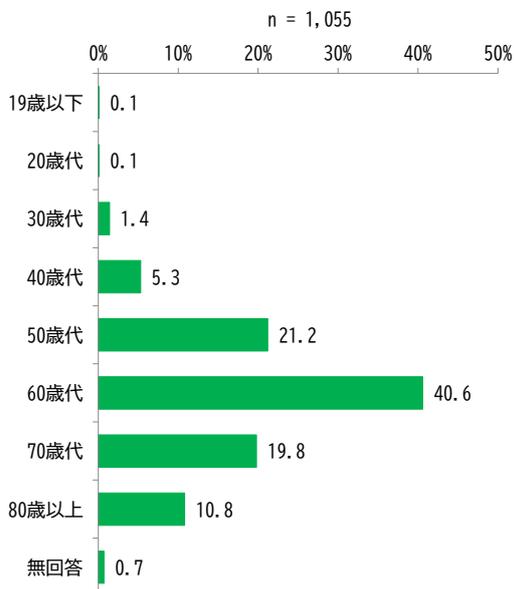
<障がい者ケアラー>



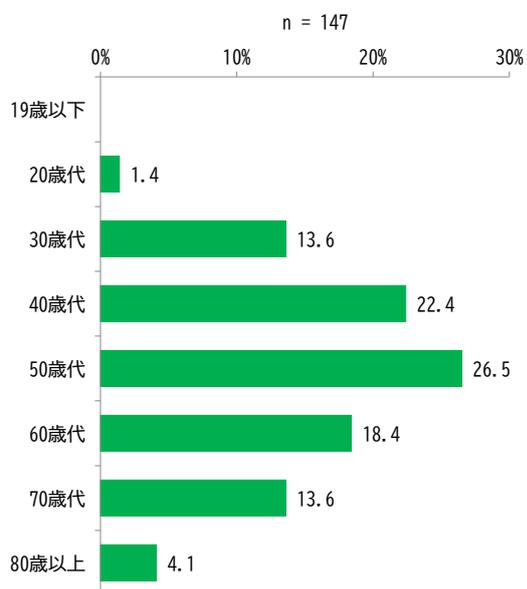
2 ケアラー本人の年齢

- 高齢者等ケアラーの年齢は、「60 歳代」が40.6%で最も高く、次いで「50 歳代」が21.2%となっています。
- 障がい者ケアラーの年齢は、「50 歳代」が26.5%で最も高く、次いで「40 歳代」が22.4%となっています。

<高齢者等ケアラー>



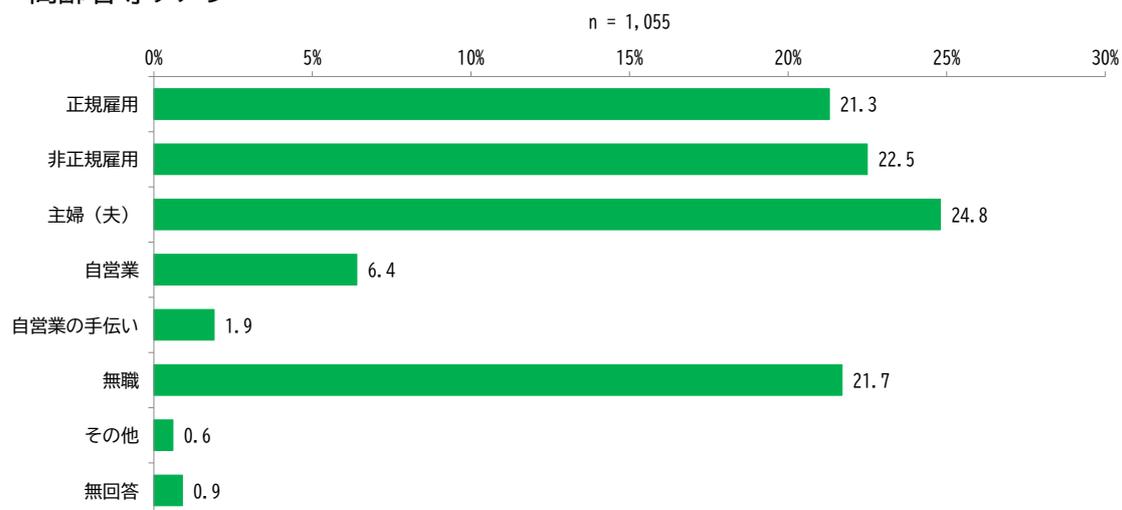
<障がい者ケアラー>



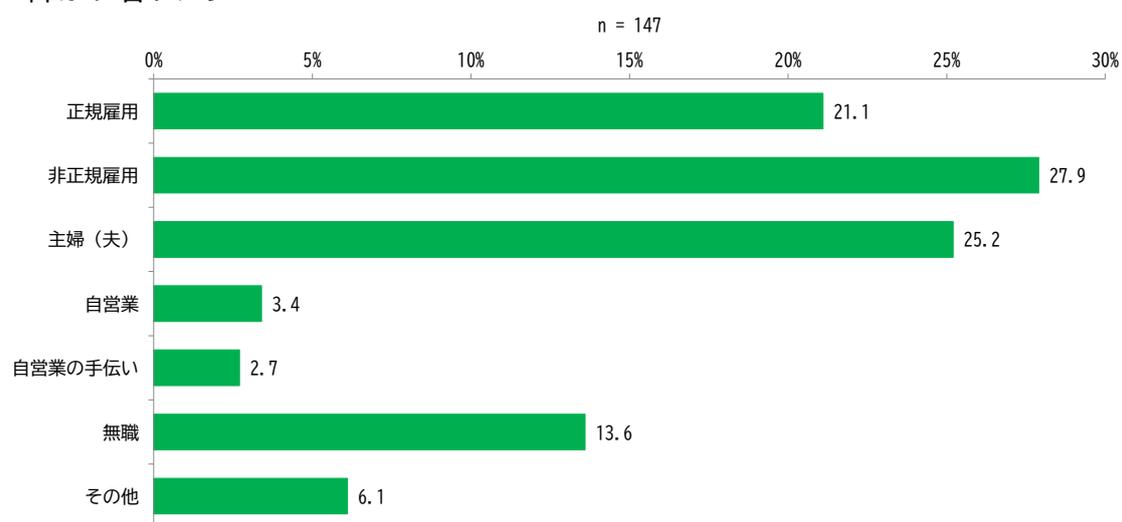
3 ケアラー本人の勤務形態

- 高齢者等ケアラーの勤務形態は、「主婦(夫)」が 24.8%で最も高く、次いで「非正規雇用」が 22.5%、「無職」が 21.7%、「正規雇用」が 21.3%となっています。
- 障がい者ケアラーの勤務形態は、「非正規雇用」が 27.9%で最も高く、次いで「主婦(夫)」が 25.2%、「正規雇用」が 21.1%、「無職」が 13.6%となっています。

<高齢者等ケアラー>



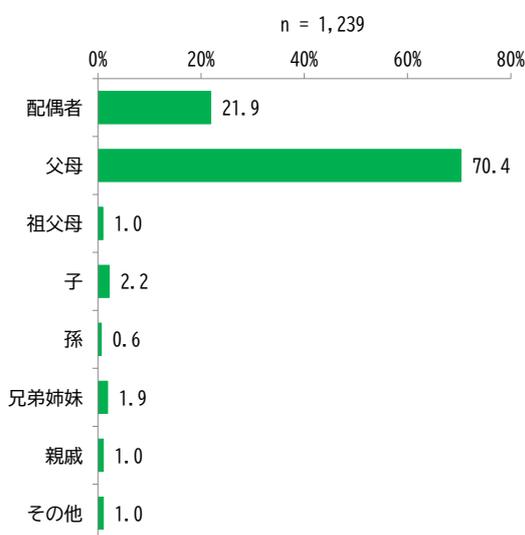
<障がい者ケアラー>



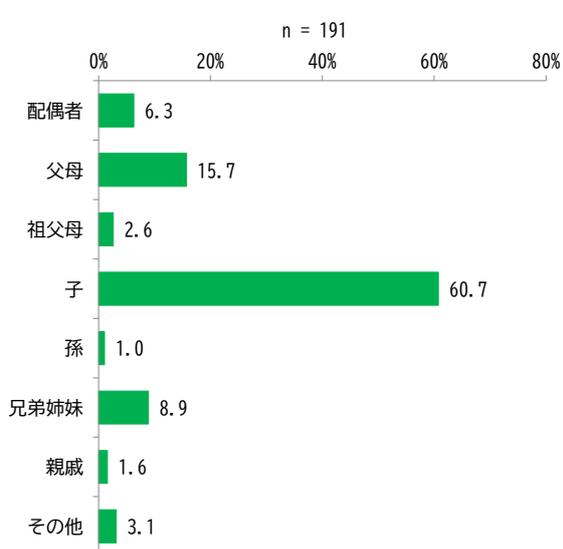
4 ケアを受けている人との関係、ケアをしている人数 ……………

- ケアを受けている高齢者等は、「父母」が70.4%で最も高く、次いで「配偶者」が21.9%となっています。ケアをしている人数は、「1人」が83.4%、「2人」が13.2%、「3人」が2.6%となっています。
- ケアを受けている障がい者は、「子」が60.7%で最も高く、次いで「父母」が15.7%、「兄弟姉妹」が8.9%となっています。ケアをしている人数は、「1人」が78.2%、「2人」が13.6%、「3人」が8.2%となっています。

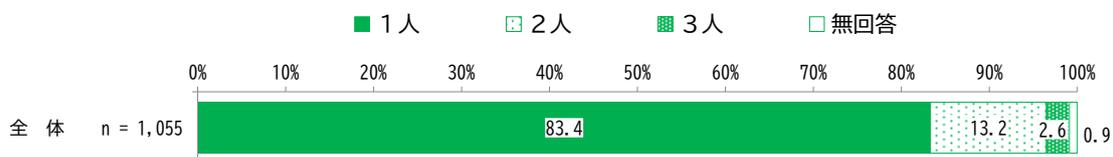
<ケアを受けている高齢者等>



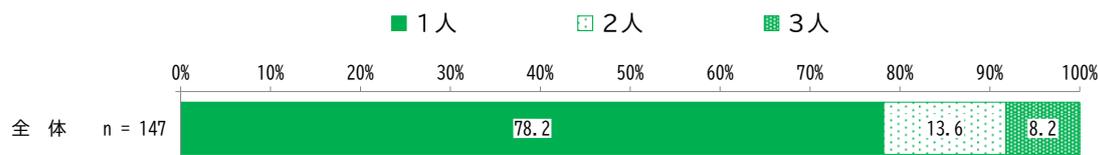
<ケアを受けている障がい者>



<ケアをしている人数(高齢者等)>



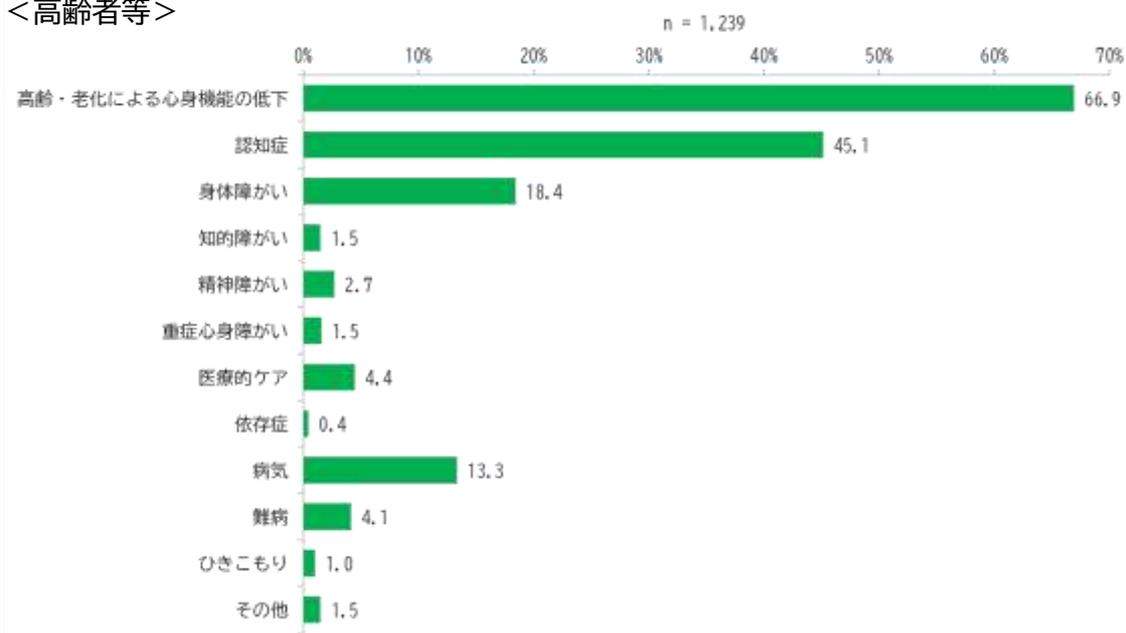
<ケアをしている人数(障がい者)>



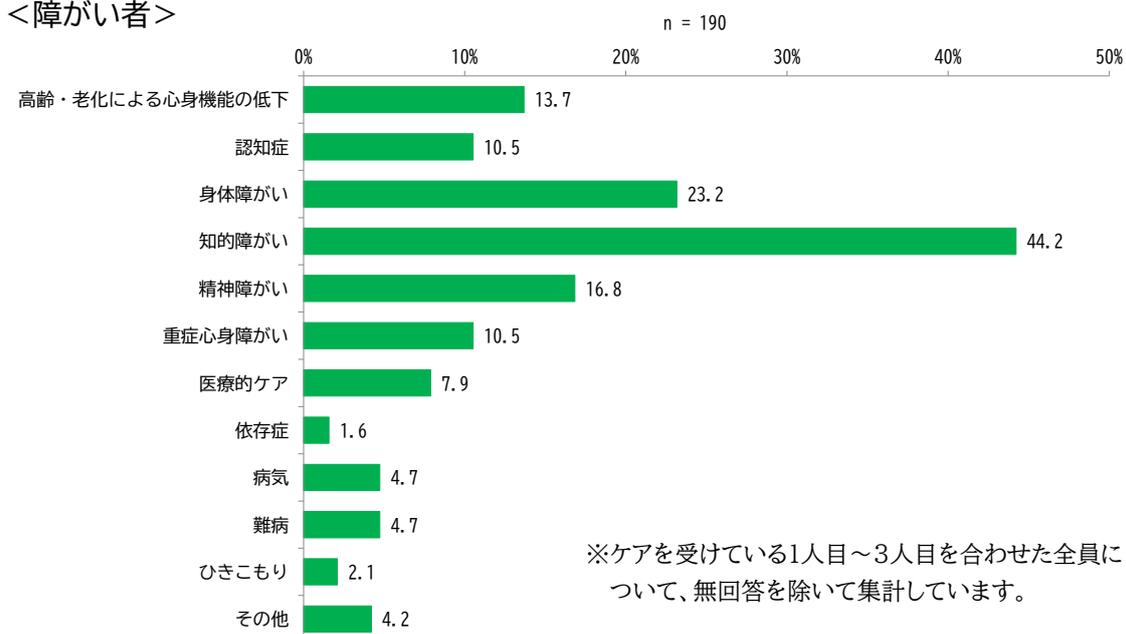
5 ケアを受けている人の状況

- ケアを受けている高齢者等の状況は、「高齢・老化による心身機能の低下」が 66.9%で最も高く、次いで「認知症」が 45.1%、「身体障がい」が 18.4%、「病気」が 13.3%となっています。
- ケアを受けている障がい者の状況は、「知的障がい」が 44.2%で最も高く、次いで「身体障がい」が 23.2%、「精神障がい」が 16.8%となっています。

<高齢者等>



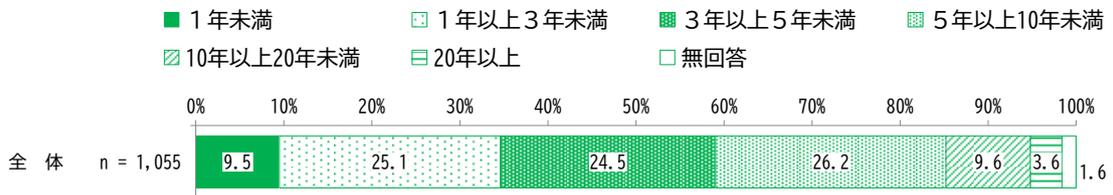
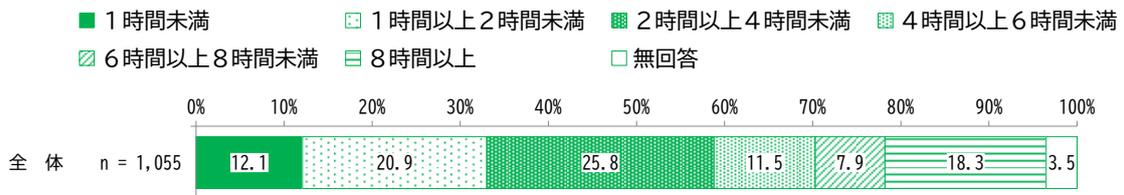
<障がい者>



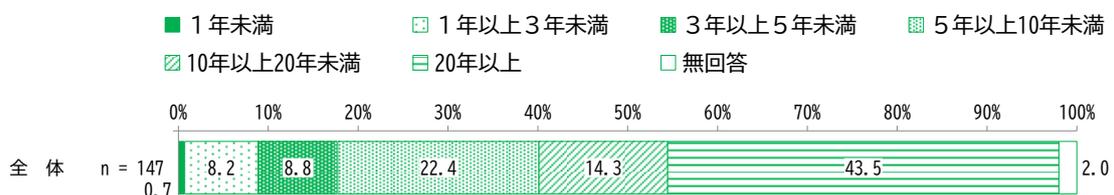
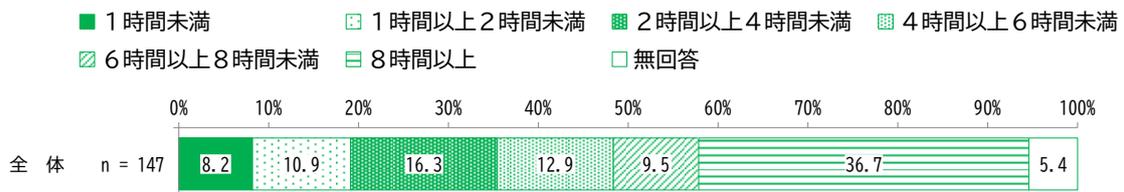
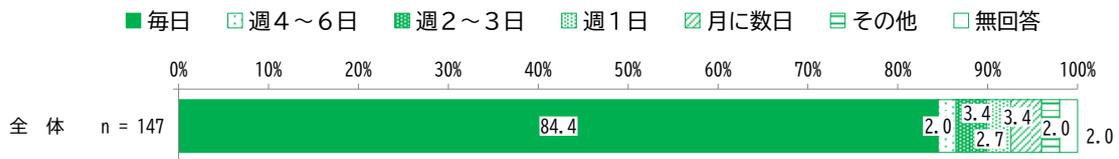
6 ケアを行っている頻度・時間・年数

- ▶ 高齢者等ケアラーがケアを行っている頻度は「毎日」が 76.4%、1日のうちケアをしている時間は「2時間以上4時間未満」が 25.8%、ケアを行っている年数は「5年以上 10年未満」が 26.2%で、それぞれ最も高くなっています。
- ▶ 障がい者ケアラーがケアを行っている頻度は「毎日」が 84.4%、1日のうちケアをしている時間は「8時間以上」が 36.7%、ケアを行っている年数は「20年以上」が 43.5%で、それぞれ最も高くなっています。

<高齢者等ケアラー>



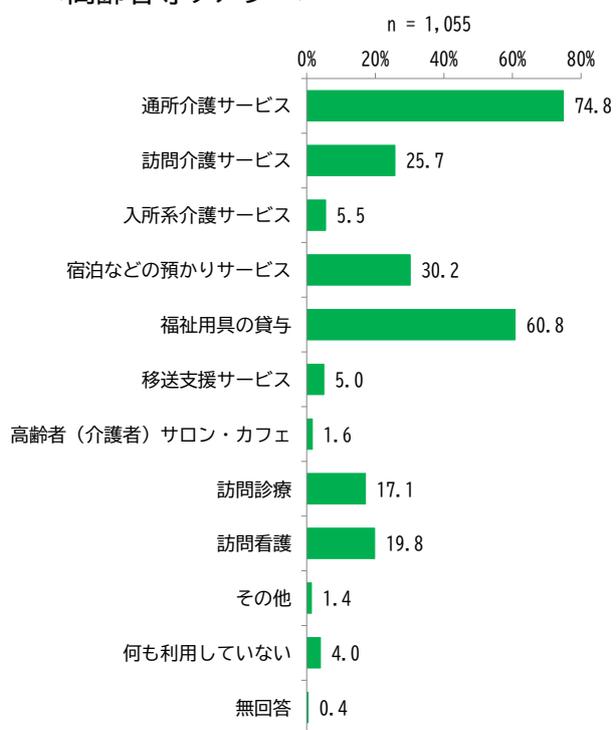
<障がい者ケアラー>



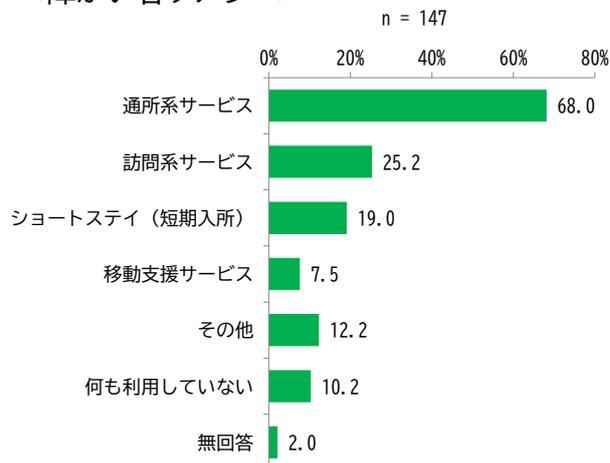
7 利用している福祉サービス

- 高齢者等とそのケアラーが利用している福祉サービスは、「通所介護サービス」が74.8%で最も高く、次いで「福祉用具の貸与」が60.8%、「宿泊などの預かりサービス」が30.2%、「訪問介護サービス」が25.7%となっています。何らかのサービスを『利用している』人の割合(全体から「何も利用していない」と無回答を除いた割合)は、95.6%となっています。
- 障がい者とそのケアラーが利用している福祉サービスは、「通所系サービス」が68.0%で最も高く、次いで「訪問系サービス」が25.2%、「ショートステイ(短期入所)」が19.0%となっています。何らかのサービスを『利用している』人の割合は、87.8%となっています。

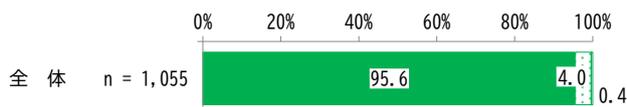
<高齢者等ケアラー>



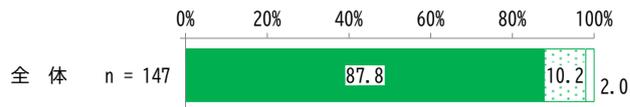
<障がい者ケアラー>



■ 利用している □ 利用していない □ 無回答



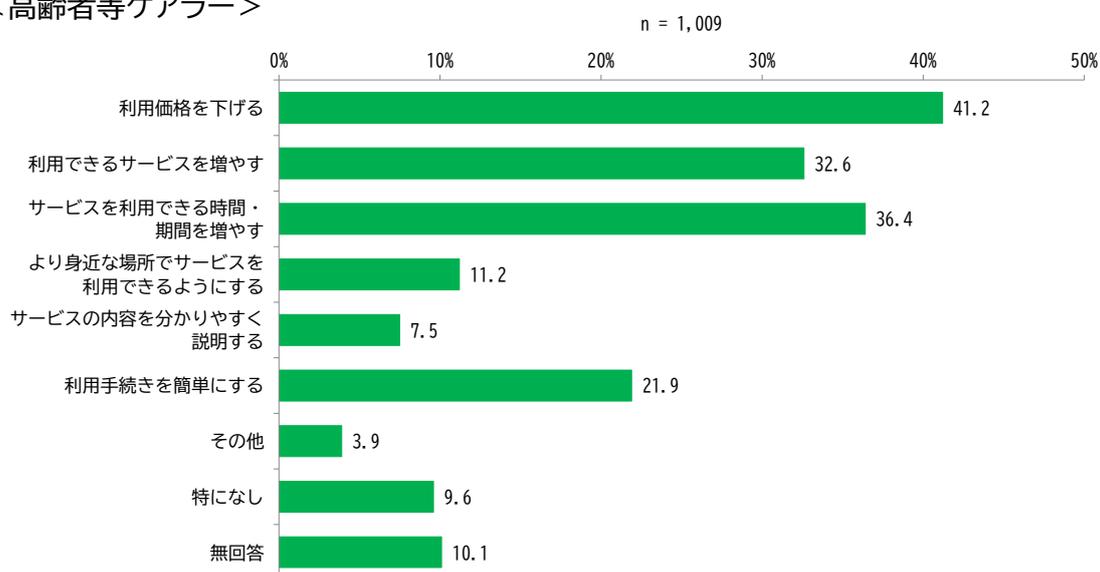
■ 利用している □ 利用していない □ 無回答



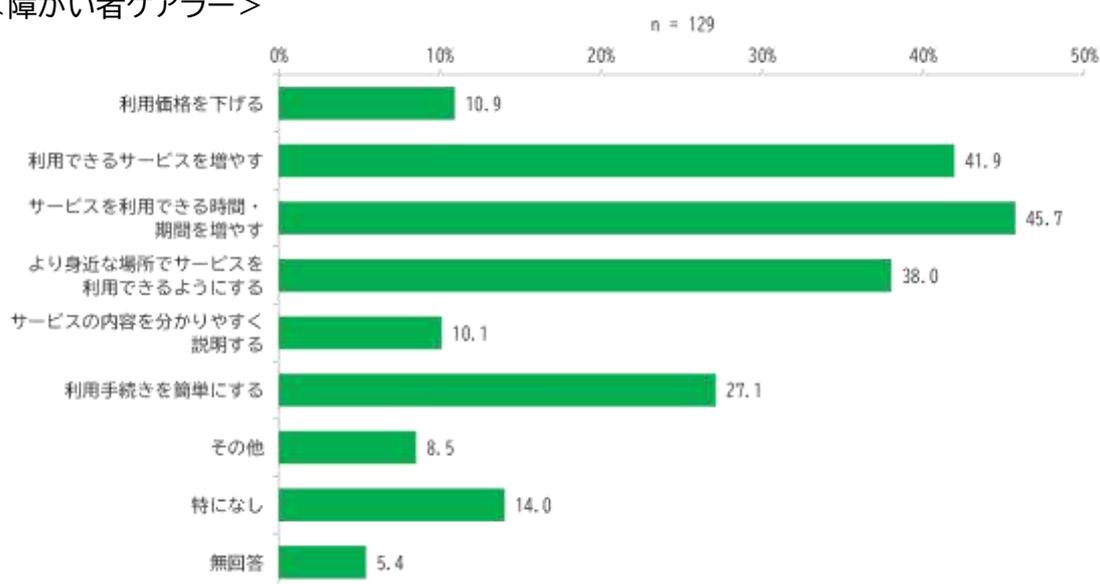
8 福祉サービスを利用しやすくするために必要な配慮 ……………

- ▶ 高齢者等とそのケアラーにとって福祉サービスを利用しやすくするために必要な配慮は、「利用価格を下げる」が 41.2%で最も高く、次いで「サービスを利用できる時間・期間を増やす」が 36.4%となっています。
- ▶ 障がい者とそのケアラーにとって福祉サービスを利用しやすくするために必要な配慮は、「サービスを利用できる時間・期間を増やす」が 45.7%で最も高く、次いで「利用できるサービスを増やす」が 41.9%となっています。

<高齢者等ケアラー>



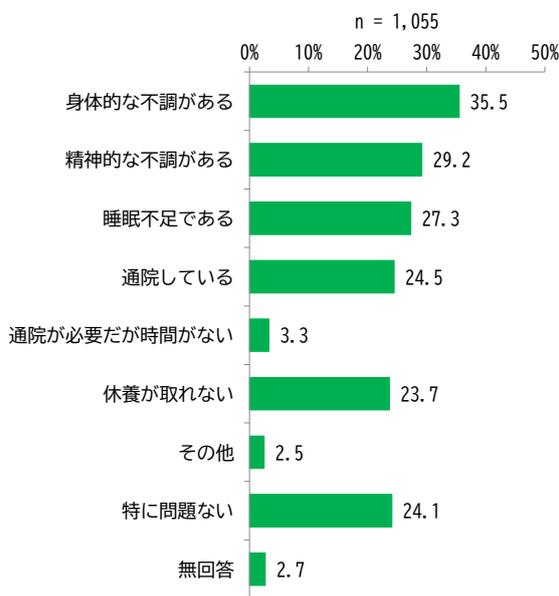
<障がい者ケアラー>



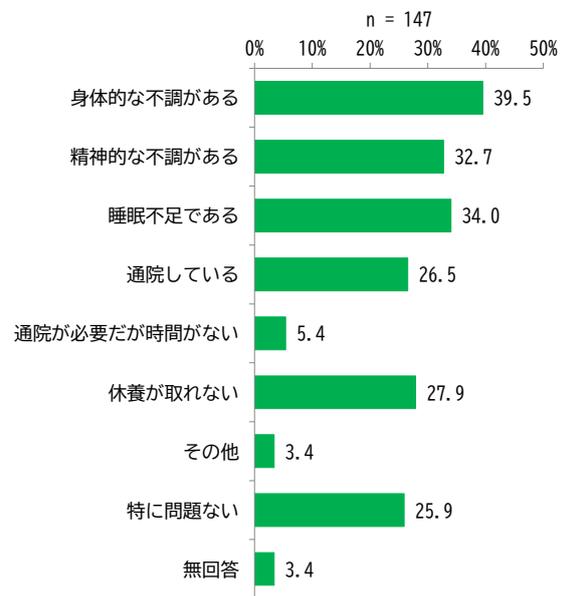
9 ケアラーの健康状態

- 高齢者等ケアラーの健康状態は、「身体的な不調がある」が 35.5%で最も高く、次いで「精神的な不調がある」が 29.2%、「睡眠不足である」が 27.3%、「通院している」が 24.5%となっています。
- 障がい者等ケアラーの健康状態は、「身体的な不調がある」が 39.5%で最も高く、次いで「睡眠不足である」が 34.0%、「精神的な不調がある」が 32.7%、「休養が取れない」が 27.9%となっています。

<高齢者等ケアラー>



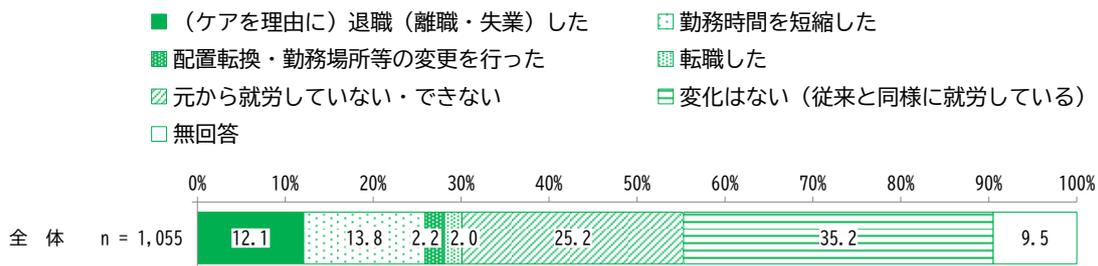
<障がい者ケアラー>



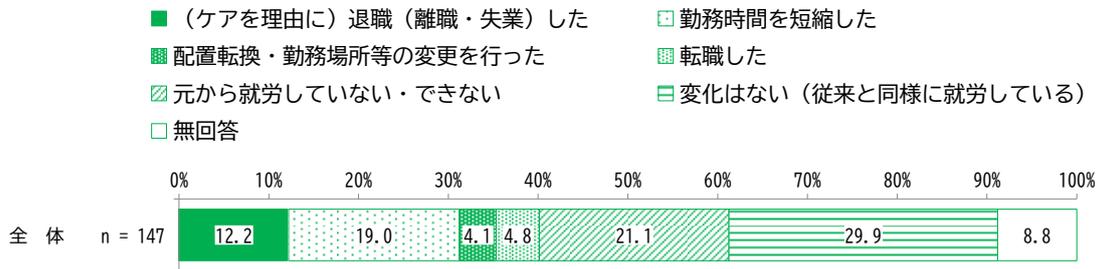
10 ケアによる就労状況の変化

- 高齢者等ケアラーのケアによる就労状況の変化は、「(ケアを理由に)退職(離職・失業)した」は 12.1%となっています。
- 障がい者ケアラーのケアによる就労状況の変化は、「(ケアを理由に)退職(離職・失業)した」は 12.2%となっています。

<高齢者等ケアラー>



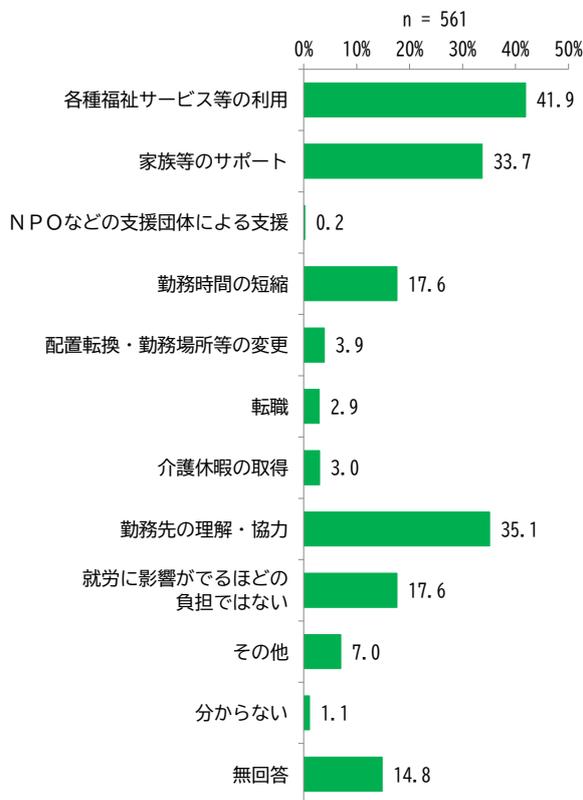
<障がい者ケアラー>



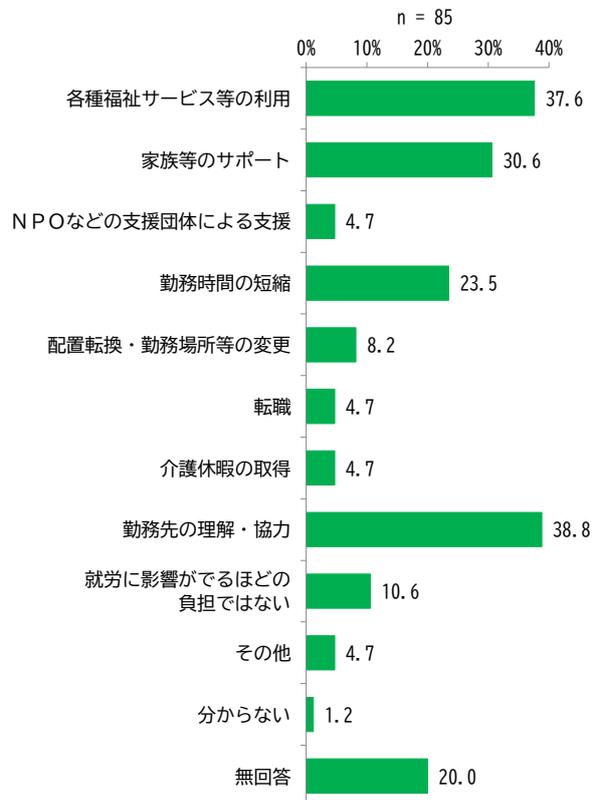
11 就労を続けられている理由

- 高齢者等ケアラーが就労を続けられている理由は、「各種福祉サービス等の利用」が 41.9%で最も高く、次いで「勤務先の理解・協力」が 35.1%、「家族等のサポート」が 33.7%となっています。
- 障がい者ケアラーが就労を続けられている理由は、「勤務先の理解・協力」が 38.8%で最も高く、次いで「各種福祉サービス等の利用」が 37.6%、「家族等のサポート」が 30.6%となっています。

<高齢者等ケアラー>



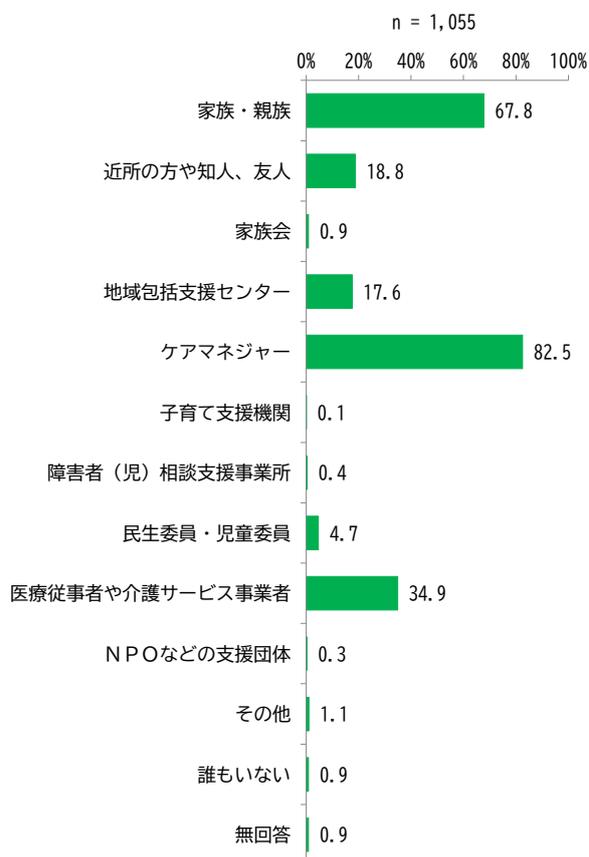
<障がい者ケアラー>



12 相談できる人・窓口・支援機関

- 高齢者等ケアラーが相談できる人・窓口・支援機関は、「ケアマネージャー」が 82.5%で最も高く、次いで「家族・親族」が 67.8%、「医療従事者や介護サービス事業者」が 34.9%、「近所の方や知人、友人」が 18.8%、「地域包括支援センター」が 17.6%となっています。
- 障がい者ケアラーが相談できる人・窓口・支援機関は、「家族・親族」が 61.2%で最も高く、次いで「障害者(児)相談支援事業所」が 51.7%、「医療従事者や介護サービス事業者」が 36.7%、「ケアマネージャー」が 16.3%、「近所の方や知人、友人」が 15.0%となっています。

<高齢者等ケアラー>

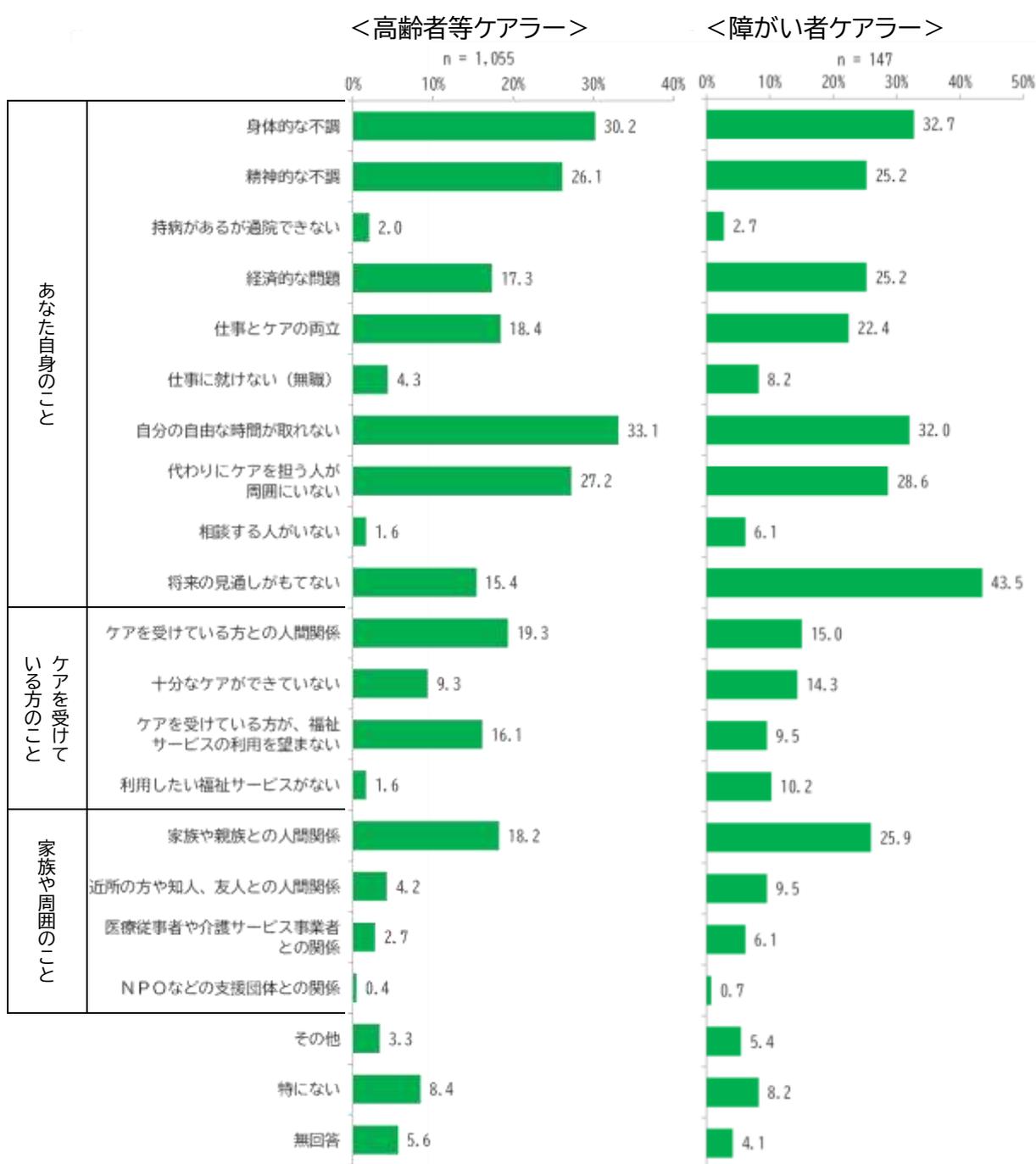


<障がい者ケアラー>



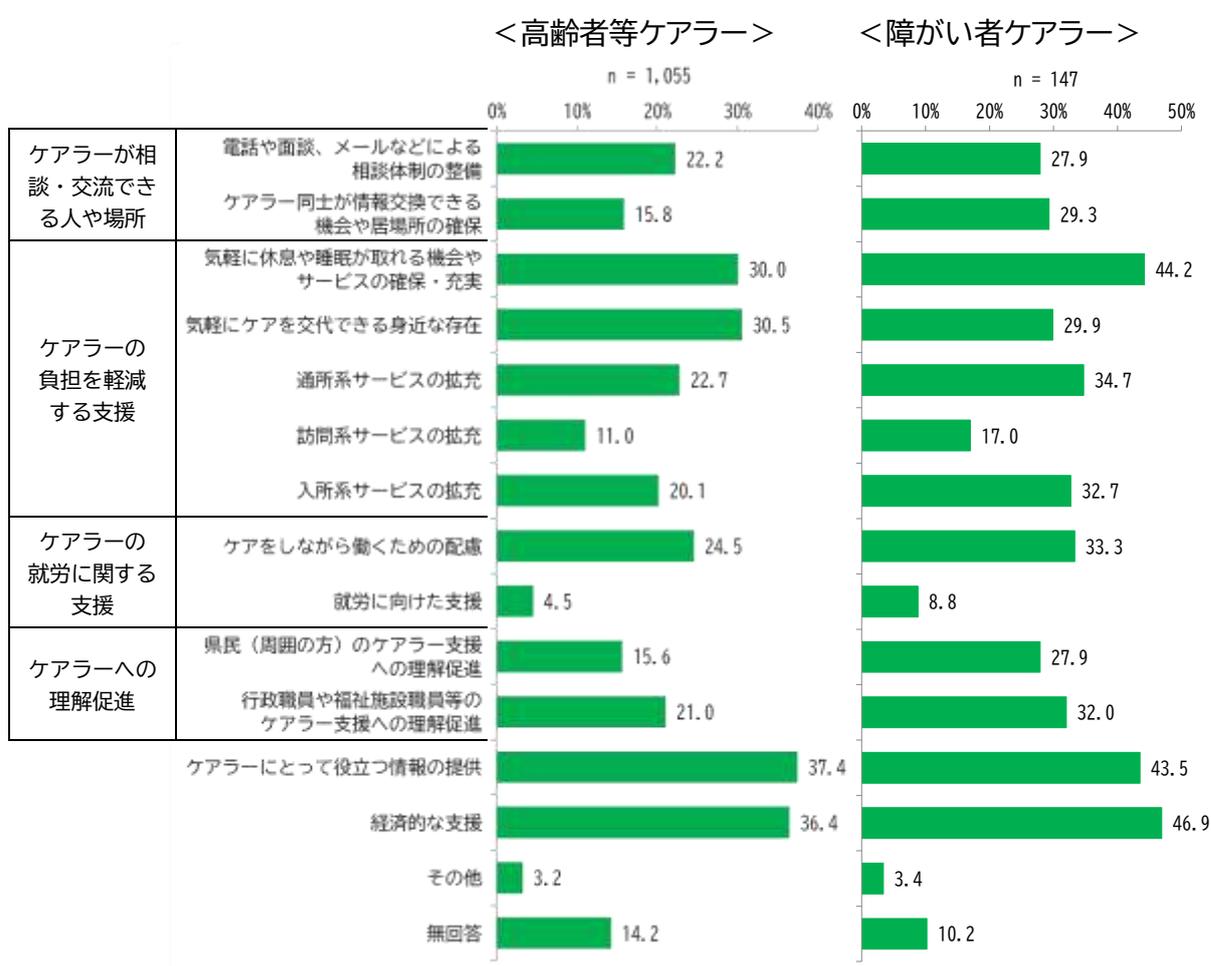
13 ケアによって困っていることや悩んでいること

- ▶ 高齢者等ケアラーがケアによって困っていることや悩んでいることは、「自分の自由な時間が取れない」が33.1%で最も高く、次いで「身体的な不調」が30.2%、「代わりにケアを担う人が周囲にいない」が27.2%、「精神的な不調」が26.1%となっています。
- ▶ 障がい者ケアラーがケアによって困っていることや悩んでいることは、「将来の見通しがもてない」が43.5%で最も高く、次いで「身体的な不調」が32.7%、「自分の自由な時間が取れない」が32.0%、「代わりにケアを担う人が周囲にいない」が28.6%となっています。



14 ケアラーに必要な支援 ……………

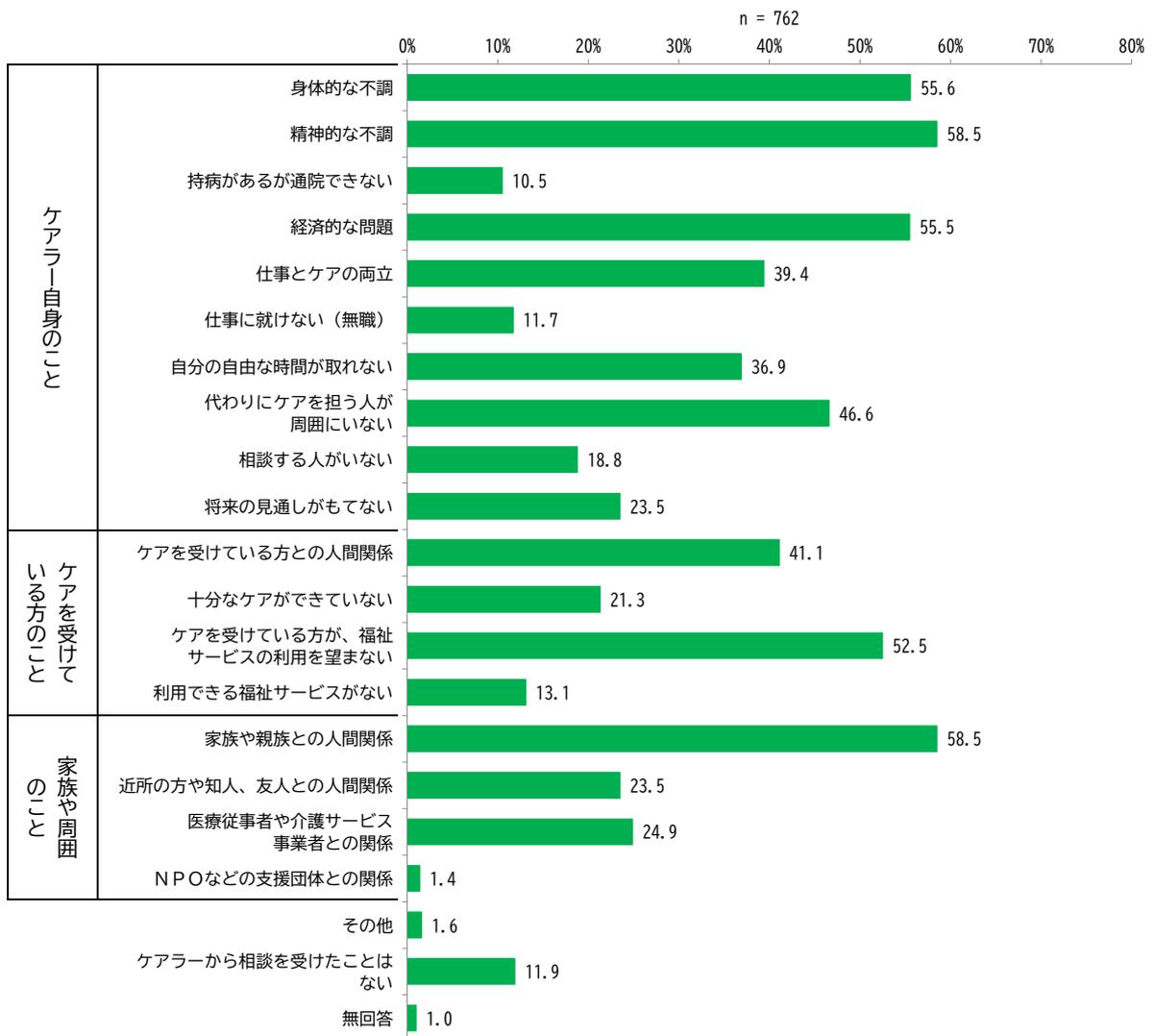
- ▶ 高齢者等ケアラーに必要な支援は、「ケアラーにとって役立つ情報の提供」が 37.4%で最も高く、次いで「経済的な支援」が 36.4%、「気軽にケアを交代できる身近な存在」が 30.5%、「気軽に休息や睡眠が取れる機会やサービスの確保・充実」が 30.0%となっています。
- ▶ 障がい者ケアラーに必要な支援は、「経済的な支援」が 46.9%で最も高く、次いで「気軽に休息や睡眠が取れる機会やサービスの確保・充実」が 44.2%、「ケアラーにとって役立つ情報の提供」が 43.5%、「通所系サービスの拡充」が 34.7%となっています。



III. 調査結果（関係機関調査）

1 ケアラーからの相談内容

➤ 「精神的な不調」「家族や親族との人間関係」がともに 58.5%で最も高く、これらに次いで「身体的な不調」が 55.6%、「経済的な問題」が 55.5%となっています。



2 ケアラーに必要な支援

- ▶ 「気軽に休息や睡眠が取れる機会やサービスの確保・充実」が 45.3%で最も高く、次いで「電話や面談、メールなどによる相談体制の整備」が 31.0%、「ケアをしながら働くための配慮」が 27.6%、「ケアラー同士が情報交換できる機会や居場所の確保」が 23.2%、「気軽にケアを交代できる身近な存在」が 23.1%となっています。

